



国際ロータリー 第2500地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2022～23年度 第1352回 例会報告

例会日：2023年2月16日（木）時間：7:30～8:30

例会場：旭川アートホテル 通常例会

2500地区ガバナー

ともに紡ごう！ロータリーの未来へ
久木 佐知子（旭川西 RC）

RI会長：

ジェファー・E・ジョンズ（アメリカ）

クラブ活動方針 『これまでの30年をこれからの30年に』

クラブ会長：大久保 昌宣 ・ 幹事 竹村 陽一

会長挨拶

大久保 昌宣 会長

皆さまおはようございます。

今日は私の職業分野でもある税のグローバルな話題に触れてみたいと思います。

経済協力開発機構（OECD）が主導した法人税の最低税率ルールを導入により、「世界で年間2200億ドル（約28兆5千億円）の税収増に繋がる」との試算結果を公表しました。法人税を巡っては長年にわたり、各国がグローバル企業や富裕層の誘致を目的に税率の引き下げを行う、いわゆる「底辺への競争」が問題視されてきました。19年に始まった新型コロナウイルスの経済対策により各国の財政が急激に厳しくなったことで世界共通のルール整備が一挙に進み、21年には130超の国・地域が最低税率を15%に統一する新ルールに合意しました。

現在は各国内で法整備が進められており、日本では24年にも新ルールが施行される見通しですが、残念ながら日本における法人税率の引き下げとは行かないようです。



会務報告

幹事 竹村 陽一

1. 国際ロータリー第2500地区 ガバナー事務所より、『地区大会本会議ダイジェスト版DVD』收受。
2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、『ハイライトよねやま275号』收受。
3. 旭川市暴力追放運動推進協議会より、『特殊詐欺被害防止のための啓発用DVD』收受。
4. 市内ロータリークラブより、クラブ会報收受。



🍴 食事と懇談(^o^)/

今朝の朝食（和食）です



正和電工(株)橘井社長様、ありがとう御座います。



食事中の皆さん🍴



ゲストスピーチ

○正和電工(株)橋井社長様

皆さま、おはようございます。
本日はゲストとしてお招きを頂き
ありがとうございます。



正和電工社長の橋井です。バイオトイレが1台設置されると、その分、水がきれいになる事を訴え、販売促進活動を行っています。
バイオトイレBio-Luxは「トイレ自体がし尿を処理する」トイレ装置です。し尿を水で薄めて流す「水洗方式」から、水の代わりに普通のオガクズを使い、し尿を「蒸発と分解」でトイレットペーパー共々消滅状態まで処理する新型トイレです。
水の代わりに使用するのには普通のオガクズで特別な菌は不要、メンテナンスは比較的容易で洗浄便座も使えます。
平成24年度に開発した「家庭雑排水の処理装置」Bio-Lux water を組み合わせる事で下水道が不要になります。ゆえに、国内外共に大きな注目を集めています。
バイオトイレは①「水の環境問題」、②「断水時や災害時のトイレ問題」、③「介護問題」、④「食糧問題」、⑤「循環型社会」など等のキーワードを含んでおりますが、「バイオトイレ」と「雑排水専用の浄化装置」を活用する仕組みが国策となり、各自治体がインフラ整備の一環として取り組むことを願っています。
水環境改善に貢献できるバイオトイレと浄化装置の普及促進活動にご指導ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

○会社沿革

1974	10月17日、照明器具の卸問屋として会社設立
1988	社名を(株)正和照明商事から正和電工(株)に変更 45才 ガンを患う
1995	生ゴミ処理機・バイオトイレの生産開始 (機器は全て地元業者へのアウトソーシング、工場を持たないメーカー)
1999	本社を工業団地に新築移転し、バイオトイレ展示場同時開設
2001	バイオトイレの特許確定 特許、意匠権利も次々と確定
2002	現場用仮設トイレ・山岳トイレを開発
2003	家畜用バイオトイレの開発
2004	三菱商事と販売契約

💡仕入れて売るよりも、創(造)って来て見て買ってもらう方が、利益が大きいのではないかと考えた・・・

2005	第1回無担保社債「北海道銀行保証付5千万」発行
2007	災害対策用の組立式バイオトイレの開発
2009	元気なモノ作り中小企業300社に選定される
2012	バイオトイレ屋外展示場新設 新浄化槽の開発
2014	駆除シカの分解処理装置の開発 骨専用破砕機の開発 ベトナム国世界遺産ハロン湾水環境改善調査、JICA案件 マイバイオトイレの開発、3月発売
2015	バイオトイレの特許技術を審査され、国より「黄綬褒章」を授与される 新浄化装置に特許権確立、特許請求項数10 ベトナム案件、「バイオトイレと新浄化装置」の普及実証事業が採択され
2016	女性専用の仮設トイレ、タタミ付きを新発売 内閣総理大臣が主催する「桜を見る会」に招待される(新宿御苑)
2017	骨破砕機の開発(駆除シカの分解処理装置で残った太い骨を破砕する機械) 新製品のバイオトイレWm2型の特許確立 特許第6186095号 第20回日本水環境学会シンポジウムにて講演する(会場は和歌山大学)
2018	第21回日本水環境学会シンポジウムにて講演する(会場は島根大学) 駆除シカの分解処理装置を2台と骨破砕機1台を福井県大野市に納入 中国浙江省の企業より初めての海外受注 (Wm2-55型4台 約552万円) 鳥取大学の公開セミナーに講師として参加
2019	インド訪問3月15日～20日 北海道大学で国際協力論(非常勤講師) CK330型の開発 米国・中国・ベトナムで特許取得
2020	JICA発行「北海道からSDGs」事例集に掲載 水と環境対策の専門誌「用水と排水」に論文掲載 農林水産省のHPに「駆除シカの分解処理」が掲載 第23回「水環境学会シンポジウム」にて発表(4年連続) 石川県輪島市、珠洲市、穴水町、宮城県丸森町より、駆除シカの分解処理装置を受注
2021	旭川コンベンション協会に入会 JETRO「新輸出大国コンソーシアム」専門家による海外展開支援に採択 JETRO「Alibaba.com出展支援プログラム」に採択
2022	「ホタテ貝殻の粉碎装置」の開発 「ラーメン店向け骨破砕機」の開発

正和電工の商品と製品の概要！

詳しくは、弊社ホームページ <http://www.seiwa-denko.co.jp> をご覧ください。

- ① バイオトイレ Bio-Lux → 水を使わずオガクズでし尿、トイレトーパーを分解消滅させるトイレ。
(バイオトイレは処理能力の違いで機種が多くあります)
- ② 新浄化装置 Bio-Lux Warte → 台所、浴室、洗濯機 から出る雑排水専用の新浄化装置。
- ③ 駆除動物の処理装置 Bio-Self → 駆除動物 を分解処理する装置。(シカ、イノシシ、キツネ、カラス等)。
-骨専用破砕機 → 分解処理装置で残った太い骨を砕く装置。
- ☆ 仮設バイオトイレ → バイオトイレを内蔵した仮設トイレ各種。(ログハウス仕様など)
(仮設トイレは 設置場所に応じた機種が多くあります)
- ☆ 災害備蓄用バイオトイレ → 備蓄用、船、車用など。
- ☆ 無電源仕様のバイオトイレ → 「手回し式」、「足こぎ式」。電源のない場所でも使用可能。
- ☆ 介護用家具調椅子バイオトイレ → 室内用無臭トイレ、トイレに見えないトイレ、家具調椅子。
- ☆ 家庭用生ごみ処理機 → ペット用トイレとしても使用可能。
- ☆ 業務用生ごみ処理機 Bio-Self → 有機物の分解処理装置。生ごみ処理機。
- ☆ ホタテの貝殻用粉砕機 → 近日発売
- ☆ ラーメン店向け骨破砕機 → 近日発売

(特許国内 12 件、海外特許 6 件、実用新案 1 件、商標 6 件、)
◆ 海外特許：米国、中国、ベトナム、インド、タイ、フィリピン

☆ し尿がオガクズ中で消滅する理由は蒸発と分解？

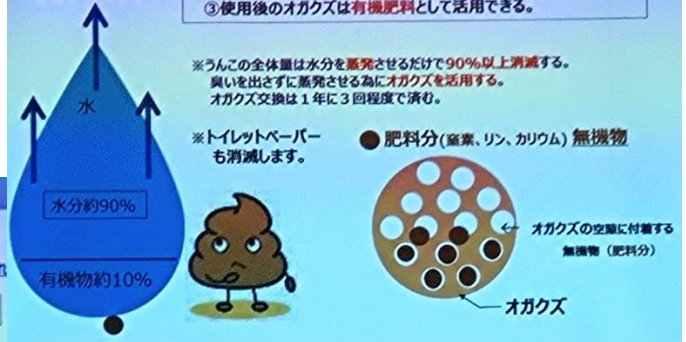
・し尿はオガクズの中で無臭で消滅する！

- ① し尿は水分の蒸発だけで全体重の90%は消滅する。
- ② 有機物は微生物が分解する。
- ③ し尿に含まれていた無機物(肥料分)はオガクズに付着する。
- ④ 使用後のオガクズは有機肥料として活用できる。

※うんこの全体重は水分を蒸発させるだけで90%以上消滅する。臭いを出さずに蒸発させる為にオガクズを活用する。オガクズ交換は1年に3回程度で済む。

※トイレトーパーも消滅します。

● 肥料分(窒素、リン、カリウム) 無機物



SDGsの推進に貢献！

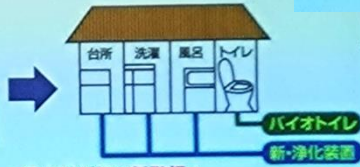
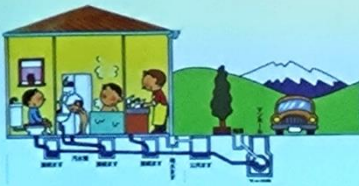
新浄化装置とバイオトイレを活用した生活排水処理技術

現状：下水道のインフラ整備が求められる

近い将来：下水道がないインフラ整備が求められる

生活排水は下水道に流して処理する方法

敷地内で完結処理する方法



☆下水道が無い新発想！

☆下水道は大きな課題がある！

- ・下水道の寿命は40年。(道路の陥没事故)
- ・沈積物の除去作業に関する費用が莫大。
- ・維持管理する為のメンテナンス費用の捻出。

- ① 分けて処理する方法。
 - ・トイレはバイオトイレで処理する。
 - ・雑排水は新浄化装置で処理する。
- ② 再利用が可能。
 - ・雑排水は雨水状態まで浄化できる。
 - ・排水先に困らない。(再利用が可能)

- ・因みに、旭川市の令和5年度下水処理事業費予算は約140億円の支出であります。

弊社のバイオトイレ、浄化装置等が普及すれば大幅に公費が削減され、環境問題の解決にも繋がります！

◎ご静聴ありがとうございました。



伝達事項

高見 一典 会員より



旭川モーニングロータリークラブ創立30周年記念事業の一環として、市役所新庁舎議場への物品寄付の申出書を提出しました。

寄附申出書

令和5年2月13日

(宛先) 旭川市長

郵便番号

住 所 旭川市常盤通り1丁目

名 称 旭川モーニングロータリークラブ

代表者職氏名 大久保 昌宣

担当者名 高見 一典

電話番号 090(3110)4532

次のとおり、寄附を申し出ます。

- 寄附物品の品名 9階議場展望廊下のカウンターで使用お椅子100万円相当
- 寄附物品の使途 新庁舎整備のため

* 旭川モーニングRC 出席報告 *

例会運営委員長 高見 一典

* 本日の出席	第 1352 回 例会	総 員	21 名
	2月 16日	出 席	16 名
		出席率	76.19 %
* 修正出席	第 1348 回 例会	総 員	21 名
	1月 19日	出 席	20 名
		出席率	95.24 %
* ゲスト	正和電工(株)代表取締役 橋井 敏弘 様		
* ビジター	ございません		
* メークアップ	2/14 石川千賀男(旭川西RC)		
	* 2/16分	ニコニコ	11,000円

